

## ブラックロック米国小型成長株式オープン Aコース(為替ヘッジなし)

第28期末(2023年9月20日)	
基準価額	40,042円
純資産総額	2,389百万円
騰落率	7.3%
分配金	0円

## ブラックロック米国小型成長株式オープン Bコース(為替ヘッジあり)

第28期末(2023年9月20日)	
基準価額	21,673円
純資産総額	341百万円
騰落率	△1.1%
分配金	0円

(注) 騰落率は収益分配金(税込み)を分配時に再投資したものとみなして計算したものです。

- 当ファンドは、投資信託約款において「運用報告書(全体版)」に記載すべき事項を、電磁的方法によりご提供する旨を定めております。右記弊社ホームページの「ファンド・ETF情報」、「投資信託」から当ファンドのファンド名を選択することにより、当ファンドの「目論見書／運用レポートなど」の欄から「運用報告書(全体版)」を閲覧およびダウンロードすることができます。
- 「運用報告書(全体版)」は、受益者のご請求により交付されます。交付をご請求される方は、販売会社までお問い合わせください。

# ブラックロック 米国小型成長株式オープン

Aコース(為替ヘッジなし)／Bコース(為替ヘッジあり)

## 追加型投信／海外／株式 交付運用報告書

第28期(2023年9月20日決算)

作成対象期間(2022年9月21日～2023年9月20日)

### 受益者の皆様へ

平素は格別のご愛顧を賜り厚く御礼申し上げます。さて、「ブラックロック米国小型成長株式オープンAコース(為替ヘッジなし)／Bコース(為替ヘッジあり)」は、このたび、第28期の決算を行いました。当ファンドは、米国小型成長株式マザーファンド受益証券を通じて、米国の小型株を主要投資対象とし、信託財産の成長を図ることを目標として積極的な運用を行います。当期につきましても、これに沿った運用を行いました。ここに、今期の運用経過について、ご報告いたします。

## ブラックロック・ジャパン株式会社

〒100-8217 東京都千代田区丸の内一丁目8番3号

丸の内トラストタワー本館

運用報告書に関するお問い合わせ先

電話番号:03-6703-4300

(受付時間 営業日の9:00～17:00)

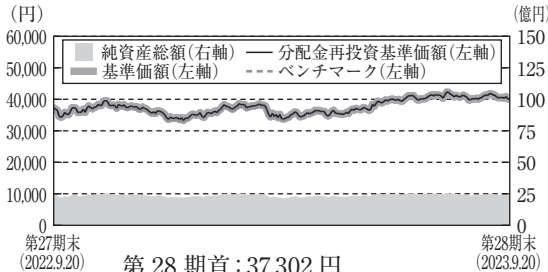
ホームページアドレス

[www.blackrock.com/jp/](http://www.blackrock.com/jp/)

## <ブラックロック米国小型成長株式オープンAコース(為替ヘッジなし)>

### ◇運用経過

■当期中の基準価額等の推移について(第28期:2022年9月21日~2023年9月20日)



第27期末 (2022.9.20) 第28期首: 37,302円  
 第28期末: 40,042円 (既払分配金0円)  
 騰落率: 7.3% (分配金再投資ベース)

- \* 分配金再投資基準価額は、収益分配金(税込み)を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。
- \* 分配金を再投資するかどうかについてはお客様がご利用のコースにより異なります。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。従って、各個人のお客様の損益の状況を示すものではありません。
- \* ベンチマークは、Russell 2000 Growth Index(税引後配当込み、円換算ベース)です。詳細につきましては後記をご覧ください。
- \* 分配金再投資基準価額およびベンチマークは、前期末の基準価額に合わせて指数化しています。

### ■基準価額の主な変動要因

当期のファンドの基準価額は、+7.3%と上昇しました。当期、「米国小型成長株式マザーファンド」が上昇したことが当ファンドのプラス要因となりました。

### ■組入ファンドの当期間中の騰落率

組入ファンド	騰落率
米国小型成長株式マザーファンド	9.2%

### ■1万口当りの費用明細

項目	第28期 (2022.9.21 ~ 2023.9.20)		項目の概要
	金額	比率	
(a) 信託報酬	632	1.683	信託報酬=期中の平均基準価額×信託報酬率 期中の平均基準価額は37,564円です。
( 投信会社)	( 302)	( 0.803)	投信会社分は、委託した資金の運用の対価 販売会社分は、交付運用報告書等各種書類の送付、口座内での各ファンドの管理、購入後の情報提供等の対価 受託銀行分は、運用財産の管理、投信会社からの指図の実行の対価
( 販売会社)	( 289)	( 0.770)	
( 受託銀行)	( 41)	( 0.110)	
(b) 売買委託手数料	27	0.073	売買委託手数料=期中の売買委託手数料/期中の平均受益権口数
( 株式)	( 26)	( 0.069)	売買委託手数料は、有価証券等の売買の際、売買仲介人に支払う手数料
( 先物・オプション)	( 1)	( 0.002)	
( 投資証券)	( 1)	( 0.001)	
(c) 有価証券取引税	1	0.002	有価証券取引税=期中の有価証券取引税/期中の平均受益権口数
( 株式)	( 1)	( 0.002)	有価証券取引税は、有価証券の取引の都度発生する取引に関する税金
( 投資証券)	( 0)	( 0.000)	
(d) その他費用 ( 保管費用)	61 ( 59)	0.164 ( 0.157)	その他費用=期中のその他費用/期中の平均受益権口数 保管費用は、海外における保管銀行等に支払う有価証券等の保管および資金の送金・資産の移転等に要する費用
(その他)	( 3)	( 0.007)	信託事務の処理等に要するその他諸費用
合計	721	1.921	

(注1) 期中の費用(消費税のかかるものは消費税を含む)は追加、解約によって受益権口数に変動があるため、項目の概要の簡便法により算出した結果です。なお、売買委託手数料、有価証券取引税およびその他費用は、このファンドが組入れているマザーファンドが支払った金額のうち、このファンドに対応するものを含みます。

(注2) 金額欄は各項目ごとに円未満は四捨五入してあります。

(注3) 比率欄は「1万口当りのそれぞれの費用金額」を期中の平均基準価額で除して100を乗じたものです。

(参考情報)

■総経費率

運用管理費用(受託会社)

0.11%

その他費用

0.16%

運用管理費用(投信会社)

0.80%

総経費率  
1.85%

運用管理費用(販売会社)

0.77%

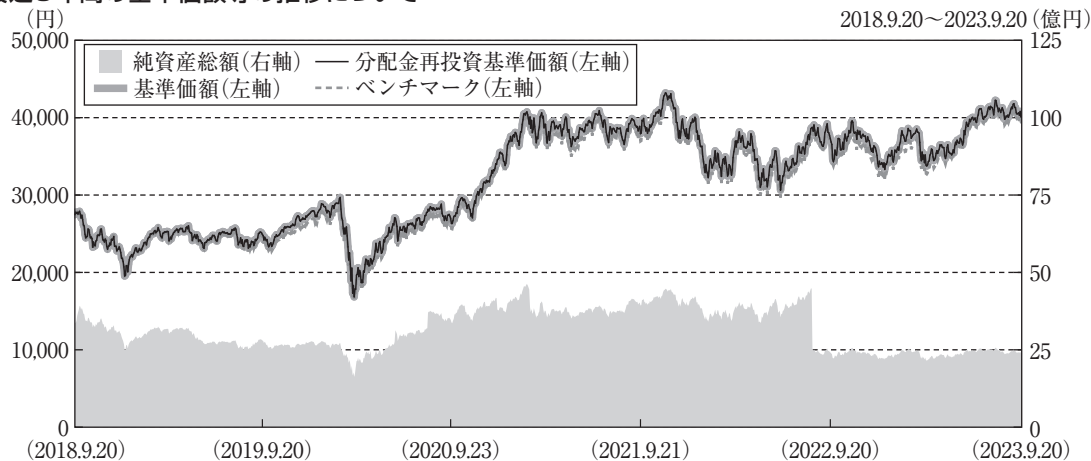
※当期中の運用・管理にかかった費用の総額を期中の平均基準価額(1口当たり)を乗じた数で除した総経費率(年率)は1.85%です。

(注1) 1万口当たりの費用明細において用いた簡便法により算出したものです。

(注2) 各費用は、原則として、募集手数料、売買委託手数料及び有価証券取引税を含みません。

(注3) 各比率は、年率換算した値です。

■最近5年間の基準価額等の推移について



(注) 分配金再投資基準価額およびベンチマークは、2018年9月20日の基準価額をもとに指数化したものです。

\* 分配金再投資基準価額は、収益分配金(税込み)を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。

\* 分配金を再投資するかどうかについてはお客様がご利用のコースにより異なります。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。従って、各個人のお客様の損益の状況を示すものではありません。

	2018年9月20日 期初	2019年9月20日 決算日	2020年9月23日 決算日	2021年9月21日 決算日	2022年9月20日 決算日	2023年9月20日 決算日
基準価額(分配前) (円)	27,458	24,909	27,004	37,936	37,302	40,042
期間分配金合計(税込み) (円)	-	0	0	0	0	0
分配金再投資基準価額の騰落率(%)	-	△ 9.3	8.4	40.5	△ 1.7	7.3
ベンチマーク騰落率(%)	-	△ 10.5	7.1	40.4	△ 0.8	7.3
純資産総額 (百万円)	3,357	2,802	3,473	3,932	2,414	2,389

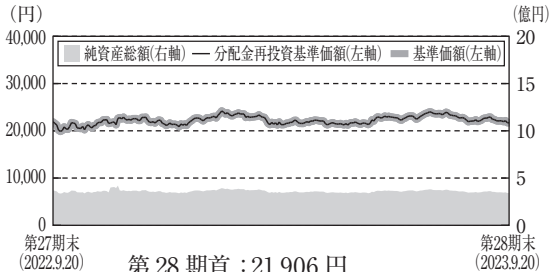
(注1) ベンチマークは、Russell 2000 Growth Index(税引後配当込み、円換算ベース)です。2021年12月18日に、当ファンドのベンチマークを「Russell 2000 Growth Index(円換算ベース)」より「Russell 2000 Growth Index(税引後配当込み、円換算ベース)」に変更しました。このため、ベンチマークのデータは、設定時から2021年12月17日までの期間は「Russell 2000 Growth Index(円換算ベース)」の指数値に基づき、2021年12月18日以降については「Russell 2000 Growth Index(税引後配当込み、円換算ベース)」の指数値に基づき記載しております。

(注2) Russell 2000 Growth Indexは米国株式市場全体の時価総額上位3,000銘柄(市場全体の約98%を代表)で構成されるインデックスシリーズである「ラッセル米国株式インデックス」の一つです。時価総額上位1,000銘柄を除く2,000銘柄のうち、PBR(株価自己資本倍率)が高く、成長が相対的に高いと予測される銘柄で構成されています。Russell 2000 IndexおよびRussellは、フランク・ラッセル・カンパニーの登録商標です。

## <ブラックロック米国小型成長株式オープンBコース(為替ヘッジあり)>

### ◇運用経過

■当期中の基準価額等の推移について(第28期:2022年9月21日~2023年9月20日)



第27期末  
(2022.9.20) 第28期首:21,906円  
第28期末:21,673円(既払分配金0円)  
騰落率:△1.1%(分配金再投資ベース)

- \* 分配金再投資基準価額は、収益分配金(税込み)を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。
- \* 分配金を再投資するかどうかについてはお客様がご利用のコースにより異なります。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。従って、各個人のお客様の損益の状況を示すものではありません。
- \* 参考指数は、Russell 2000 Growth Index(税引後配当込み、円ヘッジ円ベース)です。詳細につきましては後記をご覧ください。
- \* 分配金再投資基準価額および参考指数は、前期末の基準価額に合わせて指数化しています。

### ■基準価額の主な変動要因

当期のファンドの基準価額は、-1.1%と下落しました。当期、「米国小型成長株式マザーファンド」は上昇しましたが、為替市場での円安進展のなかで、為替ヘッジが当ファンドのマイナス要因となりました。

### ■組入ファンドの当期間中の騰落率

組入ファンド	騰落率
米国小型成長株式マザーファンド	9.2%

### ■1万口当りの費用明細

項目	第28期 (2022.9.21 ~ 2023.9.20)		項目の概要
	金額	比率	
(a) 信託報酬	円 374	% 1.683	信託報酬=期中の平均基準価額×信託報酬率 期中の平均基準価額は22,225円です。
( 投信会社 )	( 178 )	( 0.803 )	投信会社分は、委託した資金の運用の対価 販売会社分は、交付運用報告書等各種書類の送付、口座内での各ファンドの管理、購入後の情報提供等の対価
( 販売会社 )	( 171 )	( 0.770 )	
( 受託銀行 )	( 24 )	( 0.110 )	受託銀行分は、運用財産の管理、投信会社からの指図の実行の対価
(b) 売買委託手数料	16	0.073	売買委託手数料=期中の売買委託手数料/期中の平均受益権口数 売買委託手数料は、有価証券等の売買の際、売買仲介人に支払う手数料
( 株式 )	( 15 )	( 0.070 )	
( 先物・オプション )	( 0 )	( 0.002 )	
( 投資証券 )	( 0 )	( 0.001 )	
(c) 有価証券取引税	0	0.002	有価証券取引税=期中の有価証券取引税/期中の平均受益権口数 有価証券取引税は、有価証券の取引の都度発生する取引に関する税金
( 株式 )	( 0 )	( 0.002 )	
( 投資証券 )	( 0 )	( 0.000 )	
(d) その他費用 ( 保管費用 )	37 ( 35 )	0.168 ( 0.159 )	その他費用=期中のその他費用/期中の平均受益権口数 保管費用は、海外における保管銀行等に支払う有価証券等の保管および資金の送金・資産の移転等に要する費用
( その他 )	( 2 )	( 0.009 )	
合計	428	1.925	信託事務の処理等に要するその他諸費用

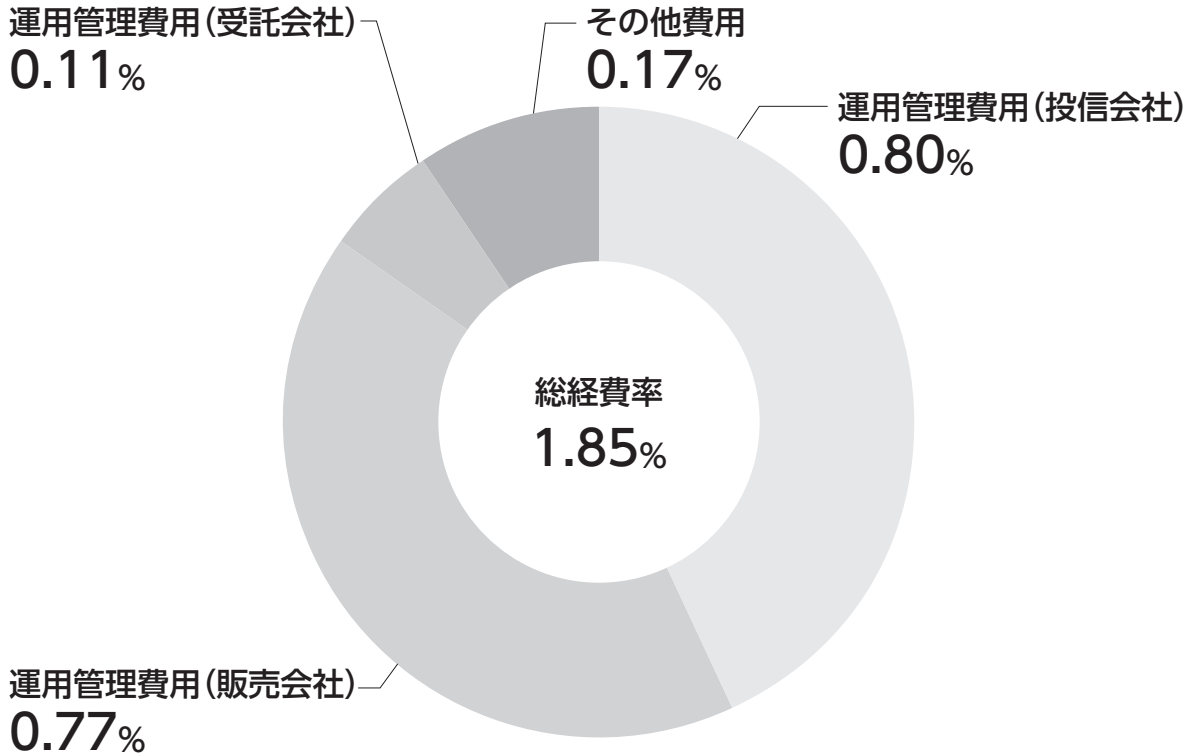
(注1) 期中の費用(消費税のかかるものは消費税を含む)は追加、解約によって受益権口数に変動があるため、項目の概要の簡便法により算出した結果です。なお、売買委託手数料、有価証券取引税およびその他費用は、このファンドが組入れているマザーファンドが支払った金額のうち、このファンドに対応するものを含まず。

(注2) 金額欄は各項目ごとに円未満は四捨五入してあります。

(注3) 比率欄は「1万口当りのそれぞれの費用金額」を期中の平均基準価額で除して100を乗じたものです。

(参考情報)

■総経費率



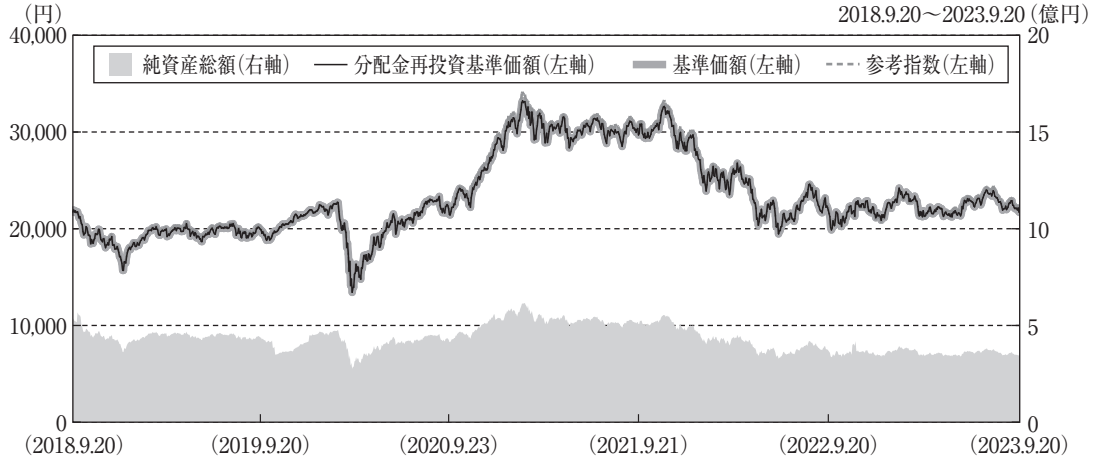
※当期中の運用・管理にかかった費用の総額を期中の平均基準価額(1口当たり)を乗じた数で除した総経費率(年率)は1.85%です。

(注1) 1万口当たりの費用明細において用いた簡便法により算出したものです。

(注2) 各費用は、原則として、募集手数料、売買委託手数料及び有価証券取引税を含みません。

(注3) 各比率は、年率換算した値です。

■最近5年間の基準価額等の推移について



(注) 分配金再投資基準価額および参考指数は、2018年9月20日の基準価額をもとに指数化したものです。

\* 分配金再投資基準価額は、収益分配金(税込み)を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。

\* 分配金を再投資するかどうかについてはお客様がご利用のコースにより異なります。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。従って、各個人のお客様の損益の状況を示すものではありません。

	2018年9月20日 期初	2019年9月20日 決算日	2020年9月23日 決算日	2021年9月21日 決算日	2022年9月20日 決算日	2023年9月20日 決算日
基準価額(分配落) (円)	21,717	19,931	22,074	29,695	21,906	21,673
期間分配金合計(税込み) (円)	-	0	0	0	0	0
分配金再投資基準価額の騰落率 (%)	-	△ 8.2	10.8	34.5	△ 26.2	△ 1.1
参考指数騰落率 (%)	-	△ 7.0	10.1	34.7	△ 26.1	△ 1.0
純資産総額 (百万円)	526	437	426	506	370	341

(注1) 参考指数は、Russell 2000 Growth Index(税引後配当込み、円ヘッジ円ベース)です。2021年12月18日に、当ファンドのベンチマークを「Russell 2000 Growth Index(現地通貨ベース)」より「Russell 2000 Growth Index(税引後配当込み、円ヘッジ円ベース)」に変更しました。このため、参考指数のデータは、設定時から2021年12月17日までの期間は「Russell 2000 Growth Index(現地通貨ベース)」の指数値に基づき、2021年12月18日以降については「Russell 2000 Growth Index(税引後配当込み、円ヘッジ円ベース)」の指数値に基づき記載しております。

(注2) Russell 2000 Growth Indexは米国株式市場全体の時価総額上位3,000銘柄(市場全体の約98%を代表)で構成されるインデックスシリーズである「ラッセル米国株式インデックス」の一つです。時価総額上位1,000銘柄を除く2,000銘柄のうち、PBR(株価自己資本倍率)が高く、成長が相対的に高いと予測される銘柄で構成されています。Russell 2000 IndexおよびRussellは、フランク・ラッセル・カンパニーの登録商標です。

## 投資環境について

当期(2022年9月21日～2023年9月20日)、当期の株式市場は、米国の金融政策の動向に加え、米地銀の破綻やAI関連銘柄への買いの集中など様々な影響を受けました。米国では引き続き高水準のインフレが継続し、それに対する金融政策当局の対応が注目点となっていました。そのため米連邦準備制度理事会(FRB)が市場想定以上にタカ派姿勢を示すと市場は急速にリスク回避的になる場面がありました。また22年末に向けては金融引き締めの結果としての経済減速懸念が意識され市場参加者のリスクテイク姿勢の重石となりました。23年に入ると中国経済再開期待に加え、米国のインフレ鈍化やパウエル議長のディスインフレ発言による米連邦公開市場委員会(FOMC)のタカ派姿勢緩和期待などが市場参加者のセンチメントを下支えました。3月にはシリコンバレーバンクの破綻により金融システム不安から市場参加者は急速にリスク回避的となりました。また米国金融政策のインフレ抑制重視が継続する中でISM等の景況感が悪化すると、金融引き締めによる景気鈍化懸念が強まるなどしました。このように経済先行き見通しの不透明感が強い中で、明るいニュースとしてAI関連への期待が強まると、半導体等AI関連銘柄への買いが集中する一方で、それ以外の銘柄群には業績期待が高かったとしても買いが入りにくいなど二極化した市場環境となる場面もありました。

## ポートフォリオについて

### <ブラックロック米国小型成長株式オープンAコース(為替ヘッジなし)>

当期、「米国小型成長株式マザーファンド」を高位に組み入れた運用を行いました。

### <ブラックロック米国小型成長株式オープンBコース(為替ヘッジあり)>

当期、「米国小型成長株式マザーファンド」を高位に組み入れた運用を行いました。また、為替ヘッジにより為替変動リスクの低減を図りました。

### <米国小型成長株式マザーファンド>

当期、ファンダメンタルズとセンチメントがともに有効性を発揮しました。当期にはFRBのタカ派姿勢もあり米金利は上昇基調となりました。その際に、ファンダメンタルズの中でもバリュエーション関連の投資アイデアが、割安銘柄を好む動きを上手く捉え有効性を発揮しました。また企業・財務体質に着目した投資アイデアも

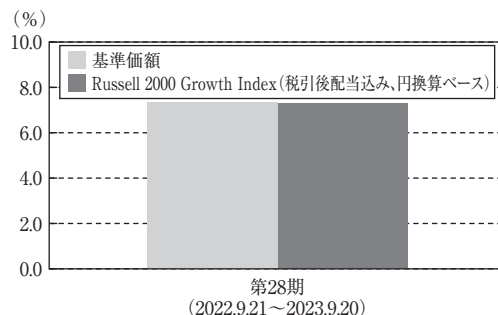
有効性を発揮しました。具体的には株式希薄化の有無や、増配減配動向に着目した投資アイデア、そして従業員満足度に着目した投資アイデアなどが有効性を発揮しました。センチメントでは業績期待に着目した投資アイデア、需給動向に着目した投資アイデアが有効性を発揮しました。具体的には、経営陣の決算発表での発言を対象にして機械学習を活用したテキスト分析を適用し経営陣のセンチメントを評価する投資アイデアや市場の空売り動向に着目した投資アイデアなどが有効性を発揮しました。

## ベンチマークとの差異について

### <ブラックロック米国小型成長株式オープンAコース(為替ヘッジなし)>

当期のファンドの基準価額は、+7.3%となり、ベンチマークは+7.3%となりました。主な要因につきましては、前述の「ポートフォリオについて」の「米国小型成長株式マザーファンド」をご参照ください。

### ■基準価額とベンチマークの対比(期別騰落率)

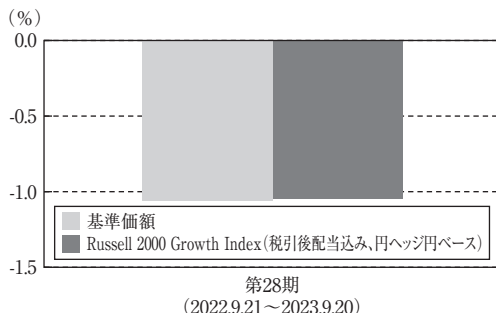




### <ブラックロック米国小型成長株式オープンBコース(為替ヘッジあり)>

当ファンドは運用の目標となるベンチマークを設けておりません。下記のグラフは、当ファンドの基準価額と参考指数の騰落率の対比です。

#### ■基準価額と参考指数の対比(期別騰落率)



#### 分配金について

### <ブラックロック米国小型成長株式オープンAコース(為替ヘッジなし)>

収益分配金は基準価額水準、市場動向等を勘案して、見送りとさせていただきます。留保益の運用につきましては、運用の基本方針に基づき運用を行います。

#### ■分配原資の内訳(1万口当り)

項目	当期
	2022年9月21日 ～2023年9月20日
当期分配金(税込み)	-円
対基準価額比率	-%
当期の収益	-円
当期の収益以外	-
翌期繰越分配対象額	30,041

- (注1) 「当期の収益」は「経費控除後の配当等収益」および「経費控除後の有価証券売却等損益」から分配に充当した金額です。また、「当期の収益以外」は「収益調整金」および「分配準備積立金」から分配に充当した金額です。
- (注2) 円未満は切り捨てており、当期の収益と当期の収益以外の合計が当期分配金(税込み)に合致しない場合があります。
- (注3) 当期分配金の対基準価額比率は当期分配金(税込み)の期末基準価額(分配金込み)に対する比率で、ファンドの収益率とは異なります。

### <ブラックロック米国小型成長株式オープンBコース(為替ヘッジあり)>

収益分配金は基準価額水準、市場動向等を勘案して、見送りとさせていただきます。留保益の運用につきましては、運用の基本方針に基づき運用を行います。

#### ■分配原資の内訳(1万口当り)

項目	当期
	2022年9月21日 ～2023年9月20日
当期分配金(税込み)	-円
対基準価額比率	-%
当期の収益	-円
当期の収益以外	-
翌期繰越分配対象額	18,732

- (注1) 「当期の収益」は「経費控除後の配当等収益」および「経費控除後の有価証券売却等損益」から分配に充当した金額です。また、「当期の収益以外」は「収益調整金」および「分配準備積立金」から分配に充当した金額です。
- (注2) 円未満は切り捨てており、当期の収益と当期の収益以外の合計が当期分配金(税込み)に合致しない場合があります。
- (注3) 当期分配金の対基準価額比率は当期分配金(税込み)の期末基準価額(分配金込み)に対する比率で、ファンドの収益率とは異なります。

#### 今後の運用方針について

### <ブラックロック米国小型成長株式オープンAコース(為替ヘッジなし)>

引き続き、「米国小型成長株式マザーファンド」を高位に組み入れる運用を行う方針です。

### <ブラックロック米国小型成長株式オープンBコース(為替ヘッジあり)>

引き続き、「米国小型成長株式マザーファンド」を高位に組み入れる運用を行う方針です。また、為替ヘッジにより為替変動リスクの低減を図る方針です。

#### <米国小型成長株式マザーファンド>

今後の米国株式市場では、引き続き金融政策の動向と、その実体経済への影響に注目が集まると想定します。FRBが23年9月に示した2024年末時点のFFレートの予測値は23年6月時点の予測値を上回り、市場参加者の事前想定よりもタカ派姿勢と受け止められました。FRBは経済見通しを上方修正したものの、引き締め効果

としての経済減速の可能性は払しょくしきれていないと考えます。また引き締めの姿勢を受けて株式市場ではバリュエーションの見直しが発生したと考えられます。つまり市場が織り込んでいた金利見通しとは異なる見通しをFRBが示したことで、市場参加者が想定するシナリオが変化したと考えられます。この想定するシナリオの変化の結果としてポジション調整が発生し市場全体に混乱が拡大すると、企業ファンダメンタルズを度外視した動きが発生する可能性もあり、注意が必要と考えます。

当ファンドでは、引き続き、独自の計量モデルを活用することで、ベンチマークの構成銘柄の中から、様々な切り口で銘柄を選定する継続的なアプローチで、ポートフォリオを構築し、超過収益の獲得を目指していく方針です。また、有望な銘柄の選定のみならず、リスク管理、取引コストも勘案して運用を行っていく方針です。

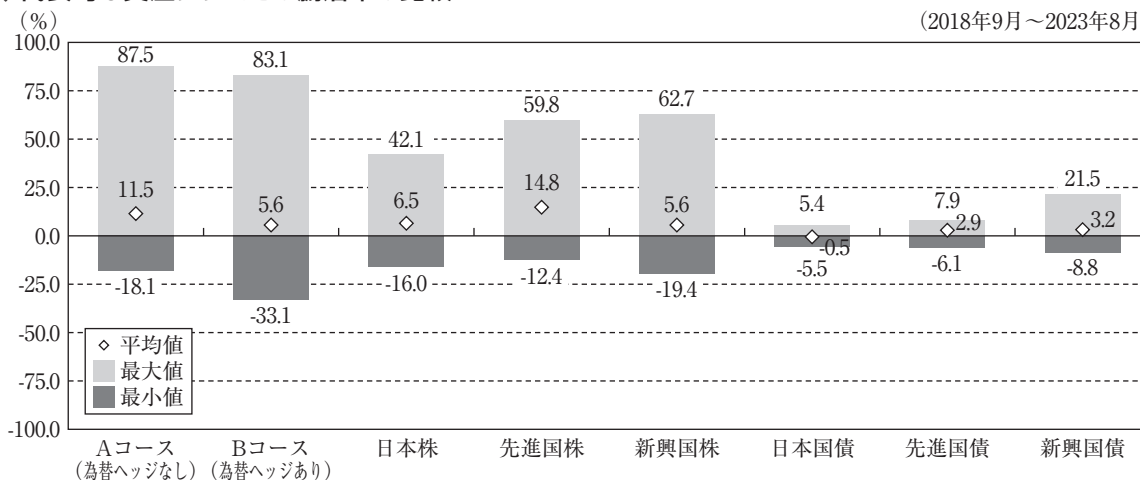
◇当ファンドの概要

商品分類	追加型投信／海外／株式	
信託期間	1995年9月29日から2025年9月18日までです。	
運用方針	米国の小型株を主要投資対象として、信託財産の成長を目標に積極的な運用を行います。	
主要運用対象	子投資信託	【ブラックロック米国小型成長株式オープンAコース(為替ヘッジなし)／Bコース(為替ヘッジあり)】 米国小型成長株式マザーファンド受益証券を主要投資対象とします。
	親投資信託	【米国小型成長株式マザーファンド】 主に米国の小型株の中から、中長期的に高成長が見込まれる銘柄に厳選投資します。
運用方法	<p>① 主として米国小型成長株式マザーファンド受益証券への投資を通じて米国の小型株を主要投資対象として積極的な運用を行います。</p> <p>② Aコース(為替ヘッジなし)は、Russell 2000 Growth Index(税引後配当込み、円換算ベース)をベンチマークとします。為替ヘッジを行うBコース(為替ヘッジあり)は、ヘッジコストを反映した指数が算出されていないため、ベンチマークを設定せず、Russell 2000 Growth Index(税引後配当込み、円ヘッジ円ベース)を参考指標とします。</p> <p>③ Aコース(為替ヘッジなし)では、実質外貨建資産については原則として為替ヘッジを行いません。また、Bコース(為替ヘッジあり)では、実質外貨建資産については為替ヘッジを行うことにより、為替変動リスクの低減を図ることを基本とします。</p> <p>④ ブラックロック・キャピタル・マネジメント・インク(BlackRock Capital Management Inc.)に外国株式等(短期金融商品を含みます。)にかかる運用の指図に関する権限を委託します。</p> <p>⑤ 資金動向、市況動向、残存信託期間等によっては、上記のような運用ができない場合があります。</p>	
分配方針	<p>年1回の毎決算時(9月20日。休業日の場合は翌営業日)に、原則として以下の方針に基づき、分配を行います。</p> <p>■ 分配対象額の範囲は、繰越分を含めた利子・配当収入と売買損益(評価損益も含みます。)等の全額とすることができます。</p> <p>■ 分配金額は委託会社が基準価額水準・市況動向、残存信託期間等を勘案して決定します。ただし、分配金額は10円以上10円単位とします。なお、分配可能額が10円未満の場合は分配を行わず、次期以降に繰越します。</p> <p>■ 留保益の運用については特に制限を設けず、委託会社の判断に基づき、元本部分と同一の運用を行います。</p> <p>※基準価額水準、市況動向等によっては分配を行わないことがあります。将来の分配金の支払いおよびその金額について保証するものではありません。</p>	

(参考情報)

◇代表的な資産クラスとの騰落率の比較

(2018年9月～2023年8月)



(注) すべての資産クラスが当ファンドの投資対象とは限りません。

\*上記は、2018年9月～2023年8月の5年間の各月末における直近1年間の騰落率の平均・最大・最小を、当ファンドおよび他の代表的な資産クラスについて表示したものです。

\*上記の騰落率は直近月末から60か月遡った算出結果であり、決算日に対応した数値とは異なります。

\*当ファンドは分配金再投資基準価額の騰落率です。

(注) 海外の指数は、為替ヘッジなしによる投資を想定して、円換算しています。

\*各資産クラスの指数

- 日本株……東証株価指数(TOPIX) (配当込み)
- 先進国株……MSCIコクサイ指数 (配当込み、円ベース)
- 新興国株……MSCIエマージング・マーケット・インデックス (配当込み、円ベース)
- 日本国債……NOMURA-BPI国債
- 先進国債……FTSE世界国債インデックス (除く日本、円ベース)
- 新興国債……J.P.モルガン・ガバメント・ボンド・インデックス-エマージング・マーケット・グローバル・ディバーシファイド (円ベース)

<各指数について>

東証株価指数(TOPIX) (配当込み)は、日本の株式市場を広く網羅するとともに、投資対象としての機能性を有する我が国を代表する指数です。東証株価指数(TOPIX) (配当込み)の指数値および東証株価指数(TOPIX) (配当込み)に係る商標又は商標は、株式会社JPX総研又は株式会社JPX総研の関連会社(以下「JPX」という。)の知的財産であり、指数の算出、指数値の公表、利用など東証株価指数(TOPIX) (配当込み)に関するすべての権利・ノウハウおよび東証株価指数(TOPIX) (配当込み)に係る商標又は商標に関するすべての権利はJPXが有します。JPXは、東証株価指数(TOPIX) (配当込み)の指数値の算出又は公表の誤謬、遅延又は中断に対し、責任を負いません。

MSCIコクサイ指数 (配当込み、円ベース)およびMSCIエマージング・マーケット・インデックス (配当込み、円ベース)は、MSCI Inc.が開発、計算した株価指数です。MSCIコクサイ指数 (配当込み、円ベース)は日本を除く世界の主要先進国の株式を、また、MSCIエマージング・マーケット・インデックス (配当込み、円ベース)は新興国の株式を対象として算出した指数です。同指数に関する著作権、知的財産その他の一切の権利は、MSCI Inc.に帰属します。また、MSCI Inc.は同指数の内容を変更する権利及び公表を停止する権利を有しています。

NOMURA-BPI国債は、野村フィデューシャリー・リサーチ&コンサルティング株式会社が公表している指数で、日本国債の市場全体の動向を表す投資収益指数です。同指数に関する知的財産権は野村フィデューシャリー・リサーチ&コンサルティング株式会社に帰属します。なお、野村フィデューシャリー・リサーチ&コンサルティング株式会社は、NOMURA-BPI国債の正確性、完全性、信頼性、有用性を保証するものではなく、NOMURA-BPI国債を用いて行われるブラックロック・ジャパン株式会社の事業活動・サービスに関し一切責任を負いません。

FTSE世界国債インデックス (除く日本、円ベース)は、FTSE Fixed Income LLCにより運営され、日本を除く世界主要国の国債の総合収益率を各市場の時価総額で加重平均した債券インデックスです。同指数はFTSE Fixed Income LLCの知的財産であり、指数に関するすべての権利はFTSE Fixed Income LLCが有しています。

J.P.モルガン・ガバメント・ボンド・インデックス-エマージング・マーケット・グローバル・ディバーシファイド (円ベース)は、J.P.モルガン・セキュリティーズ・エルエルシーが発表しており、新興国の現地通貨建ての国債を対象として算出した指数です。同指数に関する著作権はJ.P.モルガン・セキュリティーズ・エルエルシーに帰属しています。

<ブラックロック米国小型成長株式オープンAコース(為替ヘッジなし)>

◇ファンドデータ

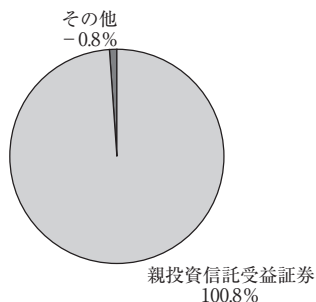
■当ファンドの組入資産の内容

○組入ファンド等

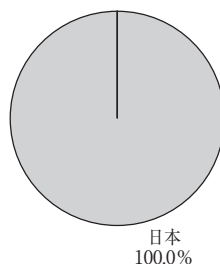
	比率
米国小型成長株式マザーファンド	100.8%
その他	-0.8

(注) 比率は第28期末における純資産総額に対する評価額の割合です。

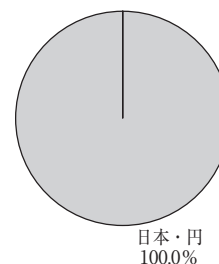
○資産別配分



○国別配分



○通貨別配分



(注) 比率は第28期末における純資産総額に対する評価額の割合です。

■純資産等

項目	当期末
	2023年9月20日
純資産総額	2,389,216,698 円
受益権総口数	596,678,203 口
1万口当り基準価額	40,042 円

\* 当期中における追加設定元本額は64,835,412円、同解約元本額は115,478,971円です。

<ブラックロック米国小型成長株式オープンBコース(為替ヘッジあり)>

◇ファンドデータ

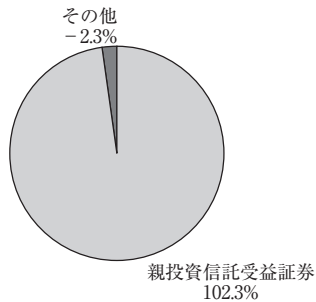
■当ファンドの組入資産の内容

○組入ファンド等

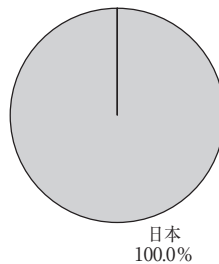
	比率
米国小型成長株式マザーファンド	102.3%
その他	-2.3

(注) 比率は第28期末における純資産総額に対する評価額の割合です。

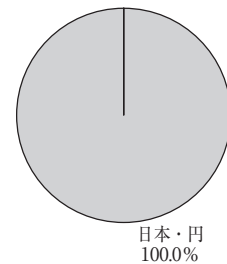
○資産別配分



○国別配分



○通貨別配分



(注) 比率は第28期末における純資産総額に対する評価額の割合です。

■純資産等

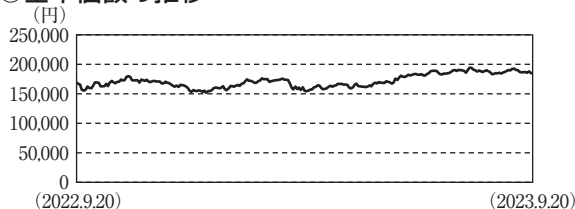
項目	当期末
	2023年9月20日
純資産総額	341,475,738 円
受益権総口数	157,558,918 口
1万口当り基準価額	21,673 円

\* 当期中における追加設定元本額は31,633,478円、同解約元本額は43,109,900円です。

## ■組入上位ファンドの概要

### ◆米国小型成長株式マザーファンド

#### ○基準価額の推移



#### ○1万口当りの費用明細

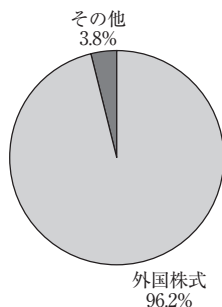
(2022. 9.21 ~ 2023. 9.20)

項目	当期
(a) 売買委託手数料	124円
(株式)	( 119)
(先物・オプション)	( 3)
(投資証券)	( 2)
(b) 有価証券取引税	3
(株式)	( 3)
(投資証券)	( 0)
(c) その他費用	280
(保管費用)	( 268)
(その他)	( 12)
合計	407

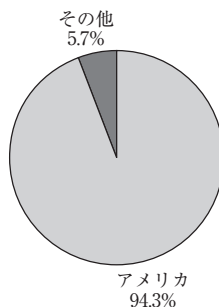
#### ○上位10銘柄

銘柄名	通貨	比率
ATKORE INC	米・ドル	1.1%
EMCOR GROUP INC	米・ドル	1.1
WATTS WATER TECHNOLOGIES-A	米・ドル	1.1
SUPER MICRO COMPUTER INC	米・ドル	1.1
AXCELIS TECHNOLOGIES INC	米・ドル	1.0
INSPIRITY INC	米・ドル	1.0
MERIT MEDICAL SYSTEMS INC	米・ドル	0.9
EXLSERVICE HOLDINGS INC	米・ドル	0.9
VISTEON CORP	米・ドル	0.9
COMFORT SYSTEMS USA INC	米・ドル	0.9
組入銘柄数	488銘柄	

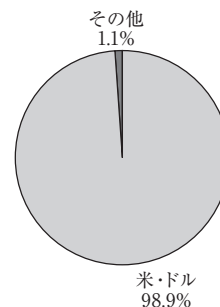
#### ○資産別配分



#### ○国別配分



#### ○通貨別配分



(注1) 基準価額の推移、1万口当りの費用明細は組入ファンドの直近の計算期間のものであります。

(注2) 1万口当りの費用明細は各項目ごとに円未満は四捨五入してあります。なお、費用項目については1ページ(1万口当りの費用明細の項目の概要)をご参照ください。

(注3) 組入上位銘柄、資産別・国別・通貨別配分のデータは組入ファンドの直近の決算日現在のものです。

(注4) 通貨別配分のデータは実質為替組入比率を記載しております。

(注5) 比率は純資産総額に対する評価額の割合です。

\*組入全銘柄に関する詳細な情報等については、運用報告書(全体版)でご覧いただけます。